

令和4年度 上津役小学校のメンタリング

1 目的

教職員の研修の質を向上させながら、働き方改革の促進のためにメンタリングを中心とした研修方法を実践する。

2 行い方

- 原則水曜日をメンタリング研修日とする。
- 全職員年2回以上のメンタリング（メンタリングシートを活用した研修）を行う。
また、1回以上はメンタリングチームで行う。
- 1回以上は授業メンタリングを行う。
- 原則、指導案の作成はしない。
授業参観は一部でもよいし、後日の視聴でも可とする。
(ディスカッションで視聴してもよい)

	チームA	チームB	チームC	チームD	チームE
チーム リーダー (ミドル リーダー)	(10年次)	(4年次)	(5年次)	(4年次)	(8年次)
メンバー	(2年次)	(2年次) (2年次)	(1年次)	(1年次)	(3年次) (3年次)
	(4年次) (10年次)	(4年次)	(5年次)	(4年次)	(5年次) (8年次) (13年次)
	(28年次)	(20年次) (14年次)	(32年次) (28年次)	(41年次) (38年次)	(19年次)

※メンタリングシートの使い方
(授業用のメンタリングシート)

1 メンタリングチームで授業について検討する。メンタリングシートにメンターが上半分を記入し、教務に渡す。教務は授業日を全職員に伝える。



2 授業後、簡単にディスカッションする。メンタリングシートの下半分にメンターが記入する。



3 出来上がったメンタリングシートを教務に渡す。教務はメンタリングボードで職員に公開し、情報共有する。



※メンタリングシートの使い方
(学級経営のメンタリングシート)

1 メンティは、日々の学級経営について悩んでいることをメンタリングシートの上半分に記入する。



2 メンタリングチームに回覧し、下半分に記入してもらう。

何人の先生に渡してもOK!

3 出来上がったメンタリングシートを教務に渡す。教務はメンタリングボードで職員に公開し、情報共有する。



学級経営等のメンタリングシート

授業実践用メンタリングシート

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 回目	打合せ日（令和 年 月 日）
メンター（ ） メンティ（ ）	
内容	生徒指導 学級経営 その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
メンターから	

年 組 授業者（ ） 参観者（ ）	
メンター（ ） メンティ（ ）	
授業実践日・場所	月 日 校時 於（ ）
教科「単元・主題・題材名」・本時	（ / ）
<主眼>	
本時特に高めた項目	
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択または具体化・焦点化する。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
参観者から	

上津役小 メンタリングシート (授業実践)

4年 1組 授業者 (8年次) 参観者 (1年次)	
メンター (8年次) メンティー (1年次)	
授業実践日・場所	5月27日 5校時 於 (4-1)
教科「単元・主題・題材名」・本時	住みよい暮らしを支える人 水はどこから (1 / 13)
<主眼> 家や学校で使われる水の用途や量を調べたり話し合ったりする活動を通して、生活の様々な面でたくさんの水が使われていることに気づくことができるようになる。	
本時特に高めたい項目	めあてを子どもたちが意識し、 それが主体的に学習しているようにする。
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択または具体化・焦点化する。
②	本時で子どもたちが見通しを持ち、主体的に活動できるようなめあてを子どものことばをひらいてつくることができる。
①	ついつい自分がしゃべりすぎる場面があるので、めあてを子どもたちが意識して、子ども主体で学習が進んでいけるようにしたい。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
<p>子どもの言葉でめあてをたてて、そのめあてに向かって主体的に調べている児童が多くみられた。実際に自分たちや市全体で使う水の量知り、驚いていた児童が多く、次時間につながる単元の導入になったのではないかと思う。</p> <p>しかし、板書計画が十分ではなく、もう少しシンプルで整理できたのではないかと思うので、次からの課題にしたい。</p>	
参観者から	
<p>授業お疲れ様でした。授業内で子どもが積極的に参加している様子が見られました。友達同士での意見交換では新たな発見をノートに書き写したりしながら学びを深めていました。また、教師の発問が一間一答ではなく子どもの疑問を引き立て、考えを深めていく授業展開だったので、比べてみると私の課題が多く発見することができました。</p> <p>板書が綺麗で子どもたちのノートも見て振り返りができるような工夫がされていたので真似したいと思います。</p>	

上津役小 メンタリングシート (授業実践)

1年1組 授業者 (28年次) 参観者 (1年次)	
メンター (28年次) メンティー (1年次)	
授業実践日・場所	6月17日 2校時 於 (1年1組教室)
教科「単元・主題・題材名」・本時	算数「たしざん(1) (4 / 7)
<主眼> 「増加」の場面でも、たし算の式にかいて答えを求めることができる。	
本時特に高めたい項目	導入段階
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択または具体化・焦点化する。
①	学習問題において、車の動きを取り入れたプレゼンテーションを導入することにより、「増加」の場面であることをとらえさせる。
②	課題場面をみながら、「おはなし」を一緒に作ることで、課題解決の見通しを持たせる。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
<p>車2台があとから来て「増えた」という増加の場面を認識し、見通しにつなげることにできたので、プレゼンテーションは有効であったと思われる。また、たし算における合併と増加の場面の違いを掲示物とブロックを置くシートを活用しての算数的活動をを通して、たし算を意味づけしていくことにより主眼に迫ることができたと考える。</p> <p>これからは、「友達に伝える」「友達の考えを聞いて、自分の考えと比べる。」発言ができる「学び合い」を通した授業づくりを目指していきたい。</p>	
参観者から	
<p>「合せて」や「増える」ことの区別ができるように問題の言葉に着目させた導入がすごく勉強になりました。視覚的に黒板だけでなく、プレゼンテーションの動作を入れることで見通しにつなげられたので、タブレットを活用した導入を取り入れていきたいと思えます。子ども一人一人に机間指導が速く的確な言葉がけをされていたので教材研究を通して、どのような指導をすべきかを考えていきたいです。</p>	

上津役小 メンタリングシート（授業実践）

かりん授業者（ 38年次 ） 参観者 41年次	
メンター（ 41年次 ） メンティー（ 38年次 ）	
授業実践日・場所	7月13日 5校時 於（かりん）
教科「単元・主題・題材名」・本時	生活単元学習「7月のカレンダーを作ろう」 （ 4/5 ）
＜主眼＞前時の製作活動（ひまわりの花）を基に、自分の能力に応じた課題を自己決定すると共に、製作活動に取り組む活動を通して、自分の決定を自己評価することができる。	
本時特に高めたい項目	自分のめあてを立て、そのめあてに対する適切な振り返りができるようにする。
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択または具体化・焦点化する。
②	子どもたちが、学習の見通しをもち、子ども自身で自分の活動を決め、子どもが主体的に学ぶ授業が展開できる。
⑬	自らの見通し・活動の質の高まりを自覚できる振り返り活動を行うことができる。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
参観者から	
<p>子どもたち一人一人が学習の見通しをもち、前時よりワンステップアップした学習に取り組むための手立てがしっかりと考えられていました。</p> <p>まず、前時の子どもたちの作品を一人ずつ提示して振り返り、次に、カレンダーを提示して本時の方向性を捉えさせられたので、子どもたちは、「カレンダーの大きさに合うヒマワリを作りたい。」と意欲が高まっていました。その後、子ども自身にどのようなヒマワリを作りたいか自己決定させるために、花の中心の大きさ、花びらの紙の種類を一つずつ提示されたことで、子どもたちは、混乱せず自分が作りたいヒマワリを選び</p>	

決定することができたと思いました。この丁寧さ、一つ一つ考えさせていく過程が大切なんだと再確認しました。また、決定したことを表した表や作り方の手順が掲示され、子どもたちの活動を支えていると感心しました。

今回学習を参観させていただいて、毎回の細やかな支援の積み重ねが、子どもたちが意欲的に活動する力を育てていることを学びました。

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 1 回目	打合せ日（令和 4 年 6 月 15 日）
メンター（ 5年次・8年次 ）	メンティ（ 3年次 ）
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>子どもに指示が通らないことが多々ある。黒板での視覚的支援や、全体への呼びかけや確認を行っているが、よりよい解決策があれば、知りたい。</p>	
メンターから	
<p>活動を行う前に個別の声掛けが必要な児童にすることを尋ねたり、子どもたちで活動の手順を考えさせることで、子どもたちが今しなければいけないことを一人一人に意識させる。また、指示を短くし、初めに「今から〇つのことについて話す」など、ゴールを提示していくことで、子どもたちが聞きやすい環境をつくっていくことが大切である。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 1 回目	打合せ日（令和 4 年 6 月 24 日）
メンター（ 4年次 ）	メンティ（ 20年次 ）
内容	<u>生徒指導</u> 学級経営 その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>授業中に、フードを被って寝たり、学習に参加せず、ノートを書かない児童への声掛けについての相談です。おうちの方へ、現状をお話したり、放課後残して、一緒に学習をしたりしていますが、改善が難しいです。アドバイスをお願いします。</p>	
メンターから	
<p>声掛けという点で、対象児童が少しでも前向きになって、学習に取り組んでいる態度を積極的に肯定してあげることが大切だと感じます。日々の些細な声掛けや接し方を少し意識して行うことで、教師に伝えようとする気持ちが芽生え始めていくと思います。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 2 回目	打合せ日（令和 4 年 6 月 15 日）
メンター（ 5年次、8年次 ）	メンティ（ 8年次 ）
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと：児童への声掛けの仕方	
<p>・机の中や後ろの棚の片づけがすごく苦手な児童への声掛けの仕方について悩んでいる。（何度声掛けしてもすぐにぐしゃぐしゃになる）</p>	
メンターから	
<p>・物の管理が苦手な児童の場合は、道具をこちらである程度預かり、一緒に管理する方法もある。管理の仕方について一緒に考え、教師の主導で一緒に管理してもよい。</p> <p>・毎週片付けの日、時間を決め、一緒に片づける。床に物が落ちていたらすぐに声をかけて拾い、落ちていても平気なクラスの雰囲気にならないことでみんなで気を付けることができるようになる。粘り強く声掛けをし、いっしょに取り組む。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 1 回目	打合せ日（令和 4 年 6 月 24 日）
メンター（ 14年次 ）	メンティ（ 20年次 ）
内容	生徒指導 学級経営 その他（ 行事 ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>自然教室などの行事で、子どもたちのグループ決めをする際の方法や気をつけることを教えてほしいです。修学旅行のときにどのようにグループ決めをしたのかなど参考にさせてもらえればと思います。</p>	
メンターから	
<p>今年度の修学旅行や、昨年度の自然教室では、事前に児童にアンケートを書いてもらいました。（・一緒にいると楽しい人・一緒にいると安心する人・あまり話したことはないけど一緒にいると成長できそうな人）などの項目に分けて友達の名前を書いてもらい、全員は無理だが、この中の誰かとは同じ班になれるように調整すると、子ども達に話し、調整しました。グループが、決まった後も、個別にこのグループで大丈夫か話を聞き、全員の納得を得た上で、グループを発表しました。グループ決めの時に、我慢してくれた子には、部屋わりやバスの座席わりで優先するなどの手立てもとりました。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）		
第 1 回目	打合せ日（令和 4 年 6 月 27 日）	
メンター（ 2年次 ）	メンティ（ 2年次 ）	
内容	生徒指導	学級経営 その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと		
<p><現状> 登校時に母親と離れるのが嫌でなかなか教室に入ることができない児童がいます。 （学校が嫌というわけではなく教室に入ると学習も頑張り、友達関係も良好なのですが…）</p> <p><悩み> この児童や保護者への声かけをどのようにすればよいか悩んでいます。 なにかよい方法があれば教えていただきたいです。</p>		
メンターから		
<p>児童が教室に入れない原因は様々なので、児童の気持ちを受け止めつつ、原因を話す気になるまでゆっくり待つよと思います。保護者の方もきっと焦りや困り感を感じていると思います。また、「原因解決」を目指すのではなく「自己肯定感を養うこと」が有効だったりします。「できたこと」「がんばったこと」など家庭や学校で認め称賛することで、自己肯定感を高めていくのもよいと思います。</p> <p>最後に、相談できる人（スクールカウンセラー）など、お勧めし、専門的に見てもらうのもよいと思います</p> <p>大切なことは、「一番困っているのは児童」ということを知りよりそってあげることだと思います。</p>		

上津役小学校メンタリング（学級経営等）		
第 1 回目	打合せ日（令和 4 年 7 月 20 日）	
メンター（ 8年次 ）	メンティ（ 3年次 ）	
内容	生徒指導	学級経営 その他（理科室の薬品管理について）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと		
<p>理科室の薬品管理について全般知りたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬品の廃棄処理について ・薬品台帳の記入について ・薬品の残量の計り方について等 <p>アドバイスよろしくをお願いします。</p>		
メンターから		
<p>薬品管理について、近年は専科指導の先生に理科の授業を担当してもらい、理科の授業をまだしたくない先生もたくさんいます。薬品の取り扱いや管理、実験方法などは専門的な知識は必要な場合があります。これから薬品庫の中の薬品を使う機会もあるかもしれません。しっかりと確認しておきたいですね。（クラブ活動などでも使ったりします）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃液処理・・・理科準備室に、廃液タンクがあります。（酸性、塩基性、その他などでわかれていれるタンクを間違えると気体が発生するなどする場合もあるので注意が必要です。金属などを溶かした水溶液は、下水にそのまま流すのではなく、必ず廃液タンクに入れましょう。 ・薬品台帳・・・①薬品庫の中の薬品を使用後、<u>容器込みの重さ（残量）</u>を計る。 ②残量を台帳に記入する。（日付、使用者名、残量（g単位）） ③理科主任が校支援システムで入力 ☆希釈して余った薬品などはかならず使い切ってしまうか廃液タンクにいれましょう。適当な容器などに入れて薬品庫に入れていると、容器の破損、薬品漏れなどにもつながります。 <p>薬品管理に限らず、必ず使用のマニュアルや説明の文章があります。自分で読んでみて、操作してみてもわからないことを質問いただくが無駄がなく次に自分1人でするときにも生かされると思います。1から10まで全部教えてもらうと次もそうしないといけないことが多いです。しっかり質問することも大切ですが、自分で調べてみることも時には必要ですね♪</p>		

上津役小学校メンタリング (学級経営等)	
第 3 回目	打合せ日 (令和 4 年 8 月 1 日)
メンター (10 年次) メンティ (28 年次)	
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他 ()
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
係活動についてのご相談です。	
「クイズ係」「お楽しみ係」など、係活動がマンネリ化しています。	
子どもたちが、楽しく生き生きと活動できる係活動があったら、ぜひ教えてください。	
メンターから	
<p>学期初めの係決めでは、「こんな係活動をしたい。」と思えるようなアイデアを子どもからだけではなく、こちらからも何個か用意するようにしています。そのほうが、子どもたちからもたくさんアイデアが出るような気がします。(例：ギネス係…世界で一番の記録をみんなに紹介する。発展させると…クラスで○○コンテストを開きクラスで一番を決める。など)</p> <p>係が決まったら、めあてを必ず書き、活動後振り返るようにしています。マンネリしてきたら、このめあてを基に子どもたちが工夫できるアイデアを出させるような仕掛けを考えます。クイズ係などは、帰りの会で発表することがマンネリしてきたら、ホワイトボードに「激むずクイズコーナー」などをつくり、回答ボックスに答えを回収したり、お誕生日カード係には、家にある余ったかわいいリボンやビーズなどを用意して「誕生日カード用の箱」を作ったり、子どもが、のってきそうな物を用意すると楽しく活動できるかもしれません。ただ、教師が用意することもあります。さりげなく、さも子どもたちが考え出したかのように仕向けます。そして、活動後は必ず賞賛する。この繰り返しを意識しています。</p>	

上津役小学校メンタリング (学級経営等)	
第 6 回目	打合せ日 (令和 4 年 8 月 1 日)
メンター (10 年次) メンティ (2 年次)	
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他 ()
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>・プリントやノートの振り返りなど、どこからどこまで点数を付けるとよいか分からず、全て評価しています。何を基準に、先生方は点数をつけられているのか教えていただきたいです。</p>	
メンターから	
<p>・毎日、プリントやノートの評価お疲れ様です。例えば、算数科における学習評価では、毎時間ですべての児童に対して 3 つの観点すべてについて評価できる情報を収集することは、現実的に無理だと考えます。私は、単元の目標をまずチェックします。そして、その目標を達成できるための各時間のねらいから、どこで評価するかを精選していきます。毎時間、評価はしますが、すべてが、「証明のための評価」(あゆみのための評価)ではありません。単元のはじめでは「努力を要する」状況と考えられる児童の学習状況を確認し、その後の指導に生かすために評価する「指導のための評価」があります。あゆみにいれる評価は、「公平でなければいけない」ということを常に考えるようにしています。なので、机間巡視で、見た子がいたり、見ていない子がいたりする場合は「証明のための評価」には入りません。そこは、わからない子を指導することに専念したほうがよいと思います。それが「指導のための評価」だと思います。難しいかもしれませんが、まず、単元のねらいから、どこで、どの評価をとるか、どんな方法で収集するかしっかり考えることが大切だと思います。そうすれば、プリントや振り返りも、どこで評価をとれるのかが見えてくると思います。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 5 回目	打合せ日（令和 4 年 8 月 1 日）
メンター（ 28年次 ） メンティ（ 2年次 ）	
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>・作業が遅く、終わらないものがどんどん溜まっていく児童が何人もいます。昼休みなどを使っても終わらないので、先生方はどう対応されているのか教えていただきたいです。</p>	
メンターから	
<p>何人もいると対応できるかわかりませんが、なるべく時間内に終わるように児童に一齐に指示を出した後、作業が遅い子を優先的に個別に指導するようにしています。（その子が自分でできるところまで道筋を立てたり、一緒にしたりすることが多いです）</p> <p>それでも終わらないことが多いので、そのときは、図書の時間に残った課題をさせるようにしています。</p> <p>可能なとき（例えば、計算問題など）は、課題の量を少し減らしてもいいのではないかと思います。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）	
第 4 回目	打合せ日（令和 4 年 8 月 1 日）
メンター（ 4年次 ） メンティ（ 2年次 ）	
内容	生徒指導 <u>学級経営</u> その他（ ）
日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと	
<p>・テストやプリントなどが早く終わった児童は、読書やタブレットをさせることが多いです。しかし、毎回読書やタブレットなので先生方はどうされているか教えていただきたいです。</p>	
メンターから	
<p>・テストやプリントはかなり個人差があるので、あまり差が出ない、教師が後で丸付けなど、負担にならない課題を出すのがいいと思います。</p> <p>・早く終わった子用に自分で答え合わせができるようなCRTアシストシートなどの課題を準備しておくのもいいかもしれません。（裏に答えを印刷しておく）</p> <p>・タブレットでも、無料の算数ドリルアプリや未来シードなどを活用して、力をつけていくものいいと思います。</p> <p>・読書も学級文庫の入れ替えを頻繁にしておく、子どもたちが飽きなくていいと思います。図書館に行くと、学年、年齢にあったものを学級単位で貸出し、入れ替えたり送ってくれる制度もあります。</p>	

上津役小学校メンタリング（学級経営等）

第 2 回目 打合せ日（令和 4 年 8 月 1 日）

メンター（ 10年次 ） メンティ（ 4年次 ）

内容 生徒指導 学級経営 その他（ ）

日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと

○宿題忘れや、長期欠席児童へのフォロー

○休み時間に生徒指導専案があった時の対応

メンターから

・宿題忘れは、忘れて当たり前にならないように、一番初めの宿題忘れの子どもへの対応が大切だと思います。そこで、やらなくても大丈夫だと子どもが思うと「宿題忘れ」は続きます。大きな声で怒るとかではなく、忘れてきた子どもには、こちらの想いを伝え「意味がある宿題」だと伝え、必ずその日にやらせるようにしています。ただ、宿題忘れにも、いろいろな理由があります。ただの怠けなら、上のやり方で忍耐強く指導していけばよいのですが、「家庭の事情」「勉強がわからない」等、子ども自身も悩んでいることがあります。その都度、その子に合わせた指導があるのだと思います。また、持ち合いの場合は、担任に宿題チェックまでしてもらったほうが把握しやすいく感じます

・持ち合いの場合、休み時間に生徒指導を終わらせないといけないのが大変なところです。そして、自分のクラスではない場合もあります。大変かと思いますが、必ずその都度、学年で共有し、次に入られる先生にも伝えます。休み時間に終わらない場合は、子どもたちに「後で、必ず話を聞くから」と伝えます。持ち合いだから話を聞いてくれないではなく、いろいろな先生が見守ってくれているという安心感を与えることができたと思います。

上津役小学校メンタリング（学級経営等）

第 1 回目 打合せ日（令和 4 年 8 月 1 日）

メンター（ 28年次 ） メンティ（ 4年次 ）

内容 生徒指導 学級経営 その他（ ）

日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと

○不登校・行きしぶりの子への対応（声かけなど）

メンターから

一人ひとり不登校・行きしぶりの原因が違うので、まずは、その児童や保護者の思いを聞き、担任としてできること、クラス全体でできること、学校としてできることなどの対応を考えるようにしています。私のクラスでも行きしぶりの児童がいましたが、進級したときに仲のよい友達とクラスが離れてしまい、クラスになかなかなじめず疎外感を感じていたようです。特に4月、5月は子どもたちの人間関係に気を配る必要があると感じました。また、クラス編成をする際にも考慮することが大事だと思いました。声かけも、励みに感じるか、負担に感じるか感じ方が児童によって違うので、難しいなど思います。